

公益社団法人神奈川県介護福祉士会



第3回 付け句大会 結果発表！

「介護の日2023」の企画として「付け句大会」を開催しました。

今回は54句の応募があり、厳選なる審査により優秀賞3作品が決定しました。また、学生の作品として未来賞も決定しました。

最優秀賞 該当者なし

優秀賞 厚木市 K.T 様

「おはよう」と、あなたの声で、陽が昇る、こんな介護の素敵体験

夜勤明けの朝でしょうか、早朝の訪問介護でしょうか。今日もまた良い1日になりますように…と、何気ない朝の一場面に、誰かの生活を支える介護福祉職の存在意義を感じる素敵体験です。

優秀賞 横浜市 遠藤朋幸 様

秋祭り、久し振りだね、お母さん、こんな介護の素敵体験

新型コロナウイルスの影響で中止になっていた秋祭りの再開を親子で楽しむ情景が目に見えます。生活の中の「当たり前」が尊い、素敵体験ですね。

優秀賞 横浜市 大山健一 様

ありがとう、皆が主役の、今日がある、こんな介護の素敵体験

介護福祉の場面では、「利用者が『ありがとう』を言う」とにかく思われがちですが、「支援してくれてありがとう」「支援させてくれてありがとう」とお互い様です。みんなが主役なんて、素敵体験ですね。

未来賞 厚木市 須藤恵美理 様

利用者と、ゲームで協力、魚釣り こんな介護の素敵体験

介護福祉を学ぶ学生さんが、実習先での素敵体験を歌にして下さいました。協力し合って一匹でも多くの魚を釣ろうと、一緒にわいわい楽しむ様子が目に浮かぶようです。

